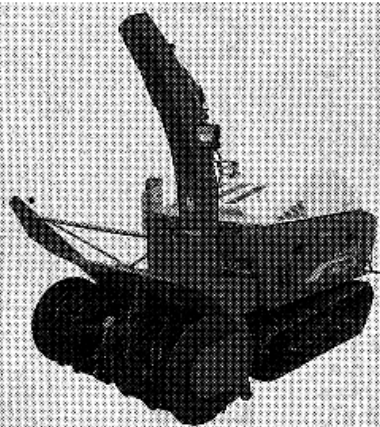


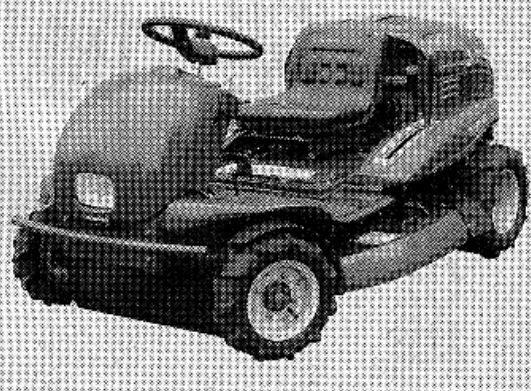
除雪機と乗用草刈機

入場者の反応に確かな手応え

山形農業まつりに出展



新型除雪機 S F 1244 D K 2



新型乗用草刈機 M E 1017 X

フジイコーポレーションは、さきごろ除雪機と乗用草刈機のニュータイプを発表した。いずれも従来のもとは、ひと味違う機能・装備を網羅する一方、安全性や操作性にも気を配ったことが大きな「売り」。同社では9月5～7日に開催された「山形農業まつり」にこれらニュータイプを出展したが入場者の反応は上々で、拡販へ向け期待感をにじませている。

フジイコーポレーション・藤井大介社長、新潟県燕市小池285Ⅱが「山形農業まつり」に出展した除雪機と乗用草刈機のニュータイプのうち、除雪機は大型のSF 1235 DK 2 (35 ps) と1244 DK 2 (44 ps) の2タイプ。いずれもロックスオン投雪機能や新型エンジンを搭載。また乗用草刈機はダイナミックプロポーションタイプのME 1017 X (17 ps、刈幅950 mm)。電動刈

いたが、その内容は専門の担当者を驚かすようなものもあり、対応の担当者も見受けられた。同社では「こういった貴重な意見を参考に、今後も開発や営業推進に生かしていきたい」（吉井営業本部長）としている。

【除雪機】フジイ除雪機は雪国生まれの「本モノ除雪機」として国内はもとよりサンタクロース村から公認を受けたり、南極観測隊に採用されるなど、その性能・機能・操作性は折り紙つき。今回の新型にもそういったこ

れまでに培ってきたノウハウが盛り込まれている。

《特長》①雪を一個所に集めたいときに便利な進化したロックオン投雪機能を標準装備。シュート

を自動制御、一定の投雪距離の範囲で狙った方向に雪を飛ばすことが可能

②オフロード法に適合したクボタ新型ディーゼルエンジン搭載③従来の3

点式デッドマンクラッチに加え、走行・作業クラ

ッチへの電動クラッチを採用。フル電動クラッチ

化により、レバー数を削減、操作性が大幅向上④

バックブザー、警告ホーンを新採用。

税込希望小売価格はSF 1235 DK 2が33万4千4250円、1244 DK 2が38万6千9250円。

力鋼板フレーム&刈取カバー、巻付き防止フェンダー、オートライトなど新装備に加え、果樹・樹木の損傷を抑える丸みを帯びたデザインを採用。

《特長》①電動刈取クラッチ装備はスイッチひとつで刈刃回転の「入」「切」が可能。石飛びの可能性

があるところなどで細かな対応ができる。回転中はスイッチランプの点

灯で告知②車体フレーム・刈取部は高張力鋼板を使用。強度アップで衝撃

による変形が少なく軽量化を実現③巻付き防止フェンダー（実用新案申請中）により前輪内側に

巻き付き草がほぼゼロに④フリーロック付き高さレバー（特許登録済）に

より刈り高さが無段階に設定可能、操作力を大幅に軽減⑤作業能率は毎時

70 a。税込希望小売価格は82万5300円。